

江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和7年4月15日 第1号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

学校は「他人との関わり方」を学ぶところ

校長 小野満 賢

校長の小野満 賢（おのみつ たかし）と申します。松江六中に着任して4年目になります。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

記念すべき50回目の入学式が4月8日に行われ、今年度は100名の新入生を迎えました。全校生徒304名、新たな教職員も加わり、令和7年度の松江六中がスタートしました。本校は規模がそれほど大きくなく、とてもアットホームな雰囲気があります。そのためか3月の別れはとても寂しく、春の新たな出会いは喜びもひとしおで心が高鳴ります。



昨年度はようやくコロナやインフルエンザ等の感染症に振り回されることなく、予定通りに教育活動を進めることができました。しかし学校現場としては、4年間に及ぶコロナの余波は未だにぬぐい切れません。この世代は全国的にタブレット端末を用いての個別の学習は加速度的に進められてきましたが、他人と関わり合う経験が圧倒的に不足していると言われていています。コロナ禍で他人と関わることを長い間制限されたことで、人と接するのが面倒になったり、怖いと感じたりする生徒も決して少なくありません。マスクがなかなか外せないのも未だに難しい問題です。

学校は「他人との関わり方」を学ぶところだと私は考えています。時に煩わしい思いをしたり、うまくいかなかったりすることもあります。学校という失敗が許される場所でそれを経験するからこそ、次第に適切な関わり方ができるようになるのだと思います。さまざまな人間と接し、試行錯誤しながらも自分の想いを相手に伝え、そして自分とは異なる意見や考え方に触れることを通じて互いを理解し、認め合い、支え合い、高め合うということが実感できるのだと思います。

人は決して一人では生きていけません。だからこそ学校で他人との関わり方を学ぶことは、これから人生を送る上でとても大事なことだと思うのです。もちろん、クラスや学年・学校の皆と関われる人もいれば、特定の誰かとだけ関わりたい人もいるでしょう。心を通わせることを通じて、「他人と関わることは面倒だけど、何だか楽しい」と思える機会が、全ての松六の生徒にあれば嬉しいです。

今年度も、生徒が他と関わり合う場面を多くつくっていきます。クラスや学年でのさまざまなグループでの活動を大切に、運動会や文化祭等の行事や委員会・部活動等での縦割りの活動を充実させるとともに、外部人材を招いて学んだり、学んだことを発表し合ったり、共に考えたりする協働的な学びの時間を意図的・効果的に計画していきます。別室登校の生徒や不登校の生徒にも今まで以上に多くの教職員が様々なかたちで関わっていく予定です。願わくは思い切ってマスクを外して、互いの表情が丸見えの関りを校長としては切に願っ



ています。

「自ら学び、考え、判断し、主体的に行動する生徒」「人の気持ちや立場を思いやり、互いを尊重しながら高め合うことのできる生徒」「向上心をもち、将来にわたって進んで地域や社会のために役立とうとする生徒」これが本校の「育てたい生徒像」です。そして昨年に引き続き全ての教育活動を通して、「自分の想いや考えを相手にしっかりと伝えることのできる生徒の育成」を目指しています。これを保護者・地域の方々にご理解いただきたいと思います。

本校の教職員は、身近にいる大人として、生徒から信頼されるようにいっそう努めてまいります。異動があって多くの教職員が入れ替わっていますが、目の前にいる生徒たちのために、一丸となって教育活動を進めてまいります。引き続き保護者・地域の皆様から応援してもらえよう努力し、ご理解とご協力を賜りながら、今年度の生徒にしか創ることのできない松江六中を、全教職員で支えていきたいと考えています。

令和7年度 着任式・始業式 4/7（月）

12日間の春休みを終えた4月7日、登校時刻の8時を待っていたかのように、新2・3年の生徒たちが一斉に登校してきました。昇降口で手渡されたクラス分けが記された学年だよりに自分や友だちの名を見つけ、あちこちで歓声が上がっていました。

代替わりしても2・3年生は当たり前のように時間前に、そして一切のおしゃべりもなく整然と整列し、着任式と始業式は予定の5分前から始まりました。素晴らしいスタートです。

着任式ではこれからお世話になる5人の先生方からご挨拶をいただきました。これから授業・部活動・委員会の他、多くの場面でお世話になります。ぜひ積極的に話をして関わりをもてるといいですね。

始業式では校長から、新たな先生やクラスの仲間との出会いや、経験したことのない新たな委員会や係の仕事について、「楽しそう」「面白そう」と前向きに捉えることで、自分の成長につながり、クラスや学年の雰囲気も良くなっていく、これから様々な「試練」があるが、自分を成長させるチャンスだと思って取り組もう、という「プラス思考」の話をしました。

併せて、2年生にはさすが中学生と思われるような見本になって欲しいこと、部活でも勉強でも趣味でも何事にも夢中で打ち込める時期であること、3年生には義務教育最後の1年として振る舞いや姿勢が小中学生の目標となり、先生や地域からの期待も大きくなること、「最後の」がつく全ての活動に悔いの無いように全力で頑張ること、自分の進路を自分で切り開くべく努力をすることを伝えました。

その後、学年の先生と担任の先生の発表がありました。生徒たちは大きな拍手で学年及び担任の先生を温かく迎えてくれました。いつものように、松江六中らしい温かで和やかなスタートになりました。



令和7年度 第50回入学式 4/8 (火)

穏やかな春の日差しの中、咲き誇る桜のもとでの入学式になりました。今年の桜は3月下旬～4月初旬には満開を迎えていましたが、連日の冷たい雨の日々が桜の見ごろを今日までもたせてくれたようです。

新入生100名が全員揃って入学式に臨み、担任の先生の呼名に一人一人が大きな返事をしてくれました。中学校生活への前向きな気持ちを感じることができました。新入生代表の さんの「誓いの言葉」は、中学生になっての期待と不安、そして自分が何に挑戦したいかを正直に、そして具体的に綴られていて、そして堂々と語っていてとても立派でした。

在校生もしっかりとした態度で式に臨みました。会場で新入生を見守ってくれていた3年生も、音声も映像も途切れ途切れの状況だったという多目的室の2年生も、しっかりと入学式を支えてくれました。会場の準備や掃除、1年生の教室の装飾、式後の片付けにも意欲的に取り組んでいる様子が印象的でした。

式の後には1年生の保護者会が開かれ、その後体育館で保護者を交えての記念撮影が行われました。これから3年間、よろしくお願いします。

新入生誓いの言葉

穏やかな春の香りに包まれ、今日、私たちは、松江第六中学校の入学式を迎えることができました。本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい式をとり行って頂き、誠に、ありがとうございます。

私たちは、これから訪れる、新しい出会いや、小学校には無かった学校行事などに、胸が高まっています。一方で、大きな環境の変化や、勉強と部活の両立など、少し不安もあります。

特に中学生になるにあたり、これまでと大きく変わることは、中学3年間の生活のまとめに、高校受験という、多くの人にとっては初めてとなる、大きな選択の機会があるという事です。全ての人が願った通りの結果が得られるとは限りません。しかし、その時になって後悔することが無いよう、日々努力していく必要があると思います。そのためにもまずは、私自身が何をを目指すのか、目標を見つけるために様々なことに挑戦し、多くの経験をしていきたいです。具体的には、まず、吹奏楽部に入り、これまで触れたことのない楽器を演奏できるようになりたいです。一つの楽器を演奏する技術を身に付けることも、簡単にはいかないでしょう。ですが、先輩方を見習い、諦めることなく努力していきたいと思います。

また、日々の生活の中にある課題に、真摯に向き合い、一つ一つの事に丁寧に取り組んでいきたいと思えます

3年間という長いようで短い期間ですが、共に過ごす仲間たちとの時間を大切に、協力し合い、時には切磋琢磨し、松江第六中学校の一員としてふさわしくあるように、共に成長していくことを誓います。

最後に、校長先生をはじめ、先生方、上級生の皆様、これからの3年間、どうぞよろしくお願いします。

【新入生代表 〇〇〇】



歓迎の言葉

暖かな風が頬をなで、鳥のさえずりが耳に心地よく響く季節となりました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんが、この松江第六中学校に入学される今日という日を、私たち在校生一同、楽しみにしていました。

中学生になり、新たな環境でのスタートを切る皆さんは今、期待と不安でいっぱいかと思います。そんな中でも前を向き、立派な姿で入学式に参列している皆さんと、これから学校生活を送れることを嬉しく思います。

中学校では、小学校と比べて異なる点がいくつかあります。まずは勉強についてです。中学校の授業は教科ごとに先生が変わり、内容がより深くなります。特別教室への移動が多くなるのも特徴です。また、学期ごとに行われる定期考査があります。小学校と比べ、テストの回数は少なくなりますが、一回の範囲が広く、二週間前から計画表を活用した学習活動が始まります。テスト直前に焦らないように、日頃から予習・復習を行うことが大切です。私自身は、授業の内容が難しくて、内容を忘れてしまうこともあり悩みました。一年生のうちから、コツコツと勉強することが大切だと実感しています。そして、わからないことや、忘れてしまったことは、積極的に先生に質問しましょう。松江六中は、皆さんの悩みに丁寧に寄り添ってくださるやさしい先生ばかりです。

次に部活動です。小学校のクラブ活動とは異なり、毎日のように活動があり、好きなことに本格的に取り組むことができます。私は科学部に所属しています。後輩をまとめるなどの責任も多く、部活動の大変さを感じることもありますが、楽しく活動する中で中学校生活をより充実したものにすることが出来ます。自分に合った部活動を見つけ、先輩方や友人たちと協力し、何かに熱中し、全力で励むことの楽しさを、この三年間で感じてください。

最後は行事です。松江第六中学校には、運動会と文化祭の二大行事があります。春に行われる運動会は各学年がクラスごとにわかれ、得点を競い合います。どのクラスからもたくさんの声援が響き、優勝に向けて、とても燃える一日となります。

秋の文化祭では、作品展示や舞台発表などが行われますが、一番の目玉は合唱コンクールです。どのクラスも優勝目指して一丸となり、練習にも熱がこもります。みんなの考えがまとまらず、思うようにいかないこともきっとたくさんあるでしょう。私も友達との話がまとまらず、何度も話し合ったことがありました。しかし、悩み、頑張った分だけ報われることもあります。それも含めて、良い思い出になるでしょう。

これからの三年間はあっという間に過ぎ去ってしまいます。だからこそ、一日一日を大切に、後悔のないものになるように、目標を見つけ、進んでいってください。そして、大切な仲間たちと支え合い、お互いを高め合っていきましょう。これからの皆さんの中学校生活が、楽しく充実したものになるよう、在校生一同応援しています。二年生・三年生と一緒に、しっかり学び、力をつける三年間にいきましょう。

【在校生代表 〃】

式辞

穏やかな春の日差しの中、満開の桜が今日の佳き日を祝福してくれています。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先ほどの呼名に、元気よく返事をしてくれたちようど百名の新入生を迎えて、松江第六中学校は新たな一歩を踏み出しました。今日は記念すべき五十回目の入学式となります。本校の二年生・三年生、そして教職員全員が、皆さんの入学を心から楽しみに待ちました。

希望に燃える皆さんの一人一人に、面と向かって語りかけることができ、それを聞いている皆さんの表情を見ることができるという「当たり前のこと」に大きな喜びを感じています。

学校は、こうして顔を突き合わせて、友だちと、そして先輩や後輩と、そして教職員と関わり合うところです。時には失敗もしながら、少しずつ人との距離感を学び、自分とは異なる考え方を知り、時に衝突やいさかきもあるかもしれませんが、これから生きていく上でとても大事な「人との関わり方」を学ぶ場所です。そんな本来の姿に戻った中学校に、皆さんを迎えることができたことが校長として何より嬉しく思います。どうか今年こそ、マスクをしなくてもいい学校生活を送っていきましょう。

さて、私は皆さんが小学校を卒業する時に宿題を出しました。覚えているでしょうか。

今日の皆さんの表情を見ると、私の想いを受け止め、しっかりと準備をして今日の日を迎えたように思います。

皆さんに、今度は「中学生として」努力して欲しいことを三つお話しします。

まず一つ目は、「何事にもチャレンジすること」です。

中学校の三年間は、心も身体も大きく成長し変化する時期です。自分の得意なものはもちろん、ちょっと苦手だと思うことにでも、チャレンジしてみることが大切です。それがきっかけとなって自分でも気付かなかった才能が開き、大きく成長させることができるかもしれません。「できるわけがない」とか、「今までやったことがないから」と、始める前から諦めたり、自分の限界を決めたりすることなく、可能性を信じて、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

二つ目は、「思いやりの気持ちをもつこと」です。思いやりとは、相手の立場に立って考えること、相手の気持ちを大事にして行動することです。嬉しいときにはともに喜び、困ったり悩んだりしているときには声をかけ、その人のために自分ができることはないか、そんなことを考えられる人になってほしいのです。もちろん自分がされて嫌なことは人に絶対にしてはいけません。中学生になると自分でも驚くほど心身ともに成長し、小学生の頃と違った個性も見えてくるはずですが、自分とは違う友だちのその個性を認め、互いに高め合いながら、大きく成長して欲しいと願っています。

三つ目は、「感謝の気持ちをもち、それを言葉で表すこと」です。人は一人では生きていけません。世の中には決して当たり前前のもは無く、いろいろな人の愛情や努力に支えられています。毎日元気に学校に通えること、しっかりご飯が食べられること、平和に安全に暮らせることなど、世界の状況を見ると当たり前前のことではないことは皆さんも分かると思います。しかも相手は決して感謝してくれとは言いません。でも、中学生になった皆さんには、そういうことに気が付くことができるようになってほしいのです。そのありがたさに気付いた時には、その気持ちをきちんと相手に伝えられる人になってください。最初は照れ臭いかもしれませんが、きっといろいろなことがうまくいくきっかけになると思います。「チャレンジ、思いやり、感謝の言葉」この三つをどうか大切にしてください。

そして校長として皆さんに一番伝えたいことは、「学校は失敗していいところだ」ということです。先ほどの話の「チャレンジ」には失敗がつきものです。そしてまた、中学生になると、自分で考え、判断して動かなければならないことが多くなります。これは、言われたことを言われた通りにやるより何倍も難しいことです。

最初からうまくいくことはありません。失敗したら、何度でもやり直せばいいのです。ここにいる大人はみんな、私自身も含め、数えきれないほどたくさんの失敗を経験しています。そして失敗からたくさんを学んできています。ですから、失敗を恐れず、様々なことに挑戦し、自分で考え、判断し、行動する力をつけていってください。何か分からないことや困ったことがあったら、皆さんの後ろに座っている三年生、今日は別な会場で入学式に参加している二年生に聞いてみてください。どの先輩も優しく丁寧に教えてくれると思いますよ。

保護者の皆さま、お子さまのご入学、まことにおめでとうございます。中学校の三年間はあっという間ですが、心身ともに大きな変化のある時期です。思春期という多感な時期と重なり、保護者として、中学生の気持ちをどのように受け止め、導いていけばいいのか、不安を感じることもあろうかと思えます。中学時代は間違いなく人生の中で最も変化の著しい時期です。だからこそ、家庭と学校がともに手を携え、車の両輪となって子供たちを見守り、支えていく必要があると思います。

私たち、松江第六中学校の教職員は、保護者の皆さまとともに考え、お子さまひとりひとりの成長を願い、励んで参りたいと考えています。どうぞ、これからの三年間、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、本日はご多用にもかかわらず、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜りました。いつも学校の強力な応援団として支えていただきありがとうございます。日頃の子供たちへの深い愛情に感謝申し上げます、私の式辞とさせていただきます。

【校長 小野満 賢】




令和7年度 教職員の異動

転出 退職	<h1>掲載しません</h1>	
転入		

令和7年度 教職員一覧

校長 小野満 賢 副校長

(第1学年)	(事務室)
	(特別支援教室専門員)
	(特別支援巡回教員)
(第2学年)	(不登校対応巡回教員)
	(副校長補佐)
(第3学年)	<h1>掲載しません</h1>
	(スクールカウンセラー) 臨床心理士
	(別室指導支援員)
(兼務)	(介助員)
	(用務業務委託)
(時間講師)	(委託栄養士〈協立給食〉)
	(給食調理業務委託)



新入生歓迎会・オリエンテーション 4/9 (水)

4月9日(水)2・3時間目に「新入生歓迎会」と「オリエンテーション」が行われました。入学してすぐの新入生が抱く不安を取り除き、安心して中学校生活を送ってもらおうと前年度の3月から、旧中央委員会のメンバーが中心となって長い期間準備をしてきたもので、その思いが溢れる「手作り感満載」の温かな雰囲気での会でした。

吹奏楽部の演奏で新入生が入場してきましたが、入学式の時には見られなかった穏やかな表情が印象的でした。全学年の生徒が体育館に一堂に会するのは今回が初めてです。新入生が椅子の向きを変え、対面するかたちになった時、新入生が松江六中の上級生に迎え入れられ、松六の一員になった感じがしました。

生徒会の 〇〇 さんの歓迎の言葉に続き、「新入生ガイドブック」をより分かりやすく知ってもらうための、先輩役 (〇〇 さん)・新入生役

(〇〇 さん)他、中央委員選抜チーム熱演の学校紹介ムービーを見ました。その後、各委員会の旧委員長から専門委員会の紹介があり、その後校歌の紹介として歌詞を見ながら全員で一緒に校歌を歌いました。

オリエンテーションでは各部活動メンバーが工夫を凝らして作成した紹介動画に大きな歓声が上がりました。さすがに普段から動画を見ている生徒たちです。カット割りやBGMや字幕の入れ方など、工夫が見られました。

普段の活動の様子をダイジェストで伝える動画もあれば、中には本物の動画配信チャンネルを見ているような映像だったり、テレビドラマの番宣に重ねて部活の紹介の吹き替えをしたり、年々企画力や動画編集力が向上してきており、なかなか見応えがありました。何より部員たちが自身が楽しんでいるのいいですね。その後部活動の決まりについて担当の藤田先生からお話がありました。さて、1年生はいつの部活動に入るのでしょうか(仮入部は4月16日までです)。楽しみです。

最後に1年生代表の 〇〇 くんから、この会を開いてくれた先輩方にお礼の言葉が述べられました。心のこもった大変立派なあいさつに、大きな拍手が送られました。

<新入生歓迎会>

司会	(2-3)
新入生入場(吹奏楽部演奏)	
プラカード先導	(3-3)
	(3-1)
	(3-3)
1 はじめの言葉	(2-1)
2 校長先生のお話	
3 学校紹介動画	
4 専門委員会紹介	
生徒会	(3-3)
学級委員	(3-1)
生活委員	(3-2)
星美委員	(3-2)
保健委員	(3-1)
給食委員	(3-3)
図書委員	(3-3)
放送委員	(3-3)
5 校歌斉唱	
指揮	(3-2)
伴奏	(3-2)
6 おわりの言葉	(3-1)

<オリエンテーション>

司会	(2-2)
	(2-3)
1 部活動紹介 部活動紹介ムービー	
2 部活動の決まりについて	
担当 藤田先生	
3 1年生代表あいさつ	(1-2)
新入生退場(吹奏楽部演奏)	
	敬称略



1年生代表あいさつ

本日は、新入生のために、素晴らしい歓迎会を開いてくださり、ありがとうございました。中学校での新しい決まりや委員会活動、それに小学校のクラブ活動と違う部活動のことを詳しく教えてくださいありがとうございました。小学校とは違うところが幾つかあり、不安もありますが、みなさんの分かり易い説明のおかげでこれからの中学校生活をとても楽しく過ごせると思います。中学校では初めてで分からないことがあり不安ですが、先生や先輩方のアドバイスをよく聞きながら、頑張っていきたいとします。

中学校の3年間は短いのであっという間に過ぎてしまうと思うので、一日一日を大切に、特に苦手な英語を頑張りながら勉学に励みたいとします。それから新しく始まる部活動にも力を入れて、頑張りたいとします。中学校の新しい生活に慣れ、皆さんの優しさに応えられるように努力していきます。

本日は皆さんのおかげでこの松江第六中学校のことが知れてとても良かったですし、私たちのために会を開いてくれてとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

【**新入生代表**】

松江六中・新学期の授業の様子をご覧ください

おしらせ

4月19日(土)

学校公開	8 : 4 5 ~ 1 1 : 3 5 (各教室)
2・3年生保護者会	1 3 : 4 5 ~ (体育館)
部活動保護者会 (全学年対象)	1 5 : 3 0 ~ (体育館)
各部活動保護者会	1 5 : 5 0 ~ (部活動ごと)

※詳細は4月9日に配布した通知文をご覧ください。

4月後半～5月前半の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
4/16	水	全国学力調査(生徒質問紙・理科) (3) 仮入部 [終] 腎臓検診一次①	○	30	水	歯科健診(1年、2-2・3)	○
17	木	全国学力調査(国語・数学)(3) 内科健診(1)	○	5/1	木	身体測定②～④	○
18	金	内科健診(3) 専門・中央委員会	○	2	金	P T A総会 内科健診(2) 専門委・中央委員会	○
19	土	学校公開 学校評議員会 保護者会(2・3) 部活動保護者会	○	3	土	憲法記念日	
20	日			4	日	みどりの日	
21	月	振替休日		5	月	こどもの日	
22	火	任命式 安全指導 内科健診(2) 江戸川っ子 study week(2)	○	6	火	振替休日	
23	水	子ども読書の日 歯科健診(3年、2-1)	○	7	水	生徒会朝礼 漢字コンテスト① 区中研一斉部会(教科)	○
24	木	生徒手帳用写真撮影①② 生徒総会リハーサル	○	8	木	修学旅行(3)	12
25	金	生徒総会⑥ 離任式リハーサル	○	9	金	修学旅行(3)	12
26	土			10	土	修学旅行(3)	
27	日			11	日		
28	月	生徒会朝礼 離任式⑥	○	12	月	振替休業日(3) 教育実習(始) 運動会期間(始)	12
29	火	昭和の日		13	火	朝礼 腎臓検診②	○